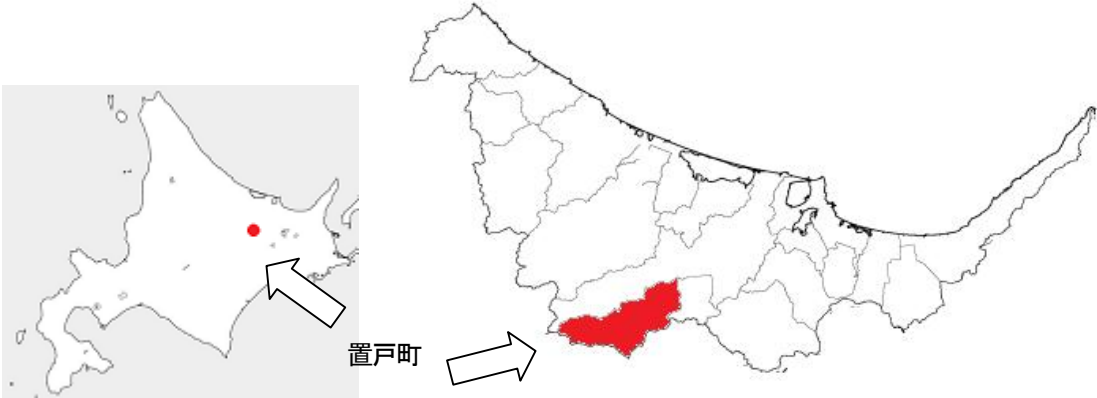


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「森の中の小さい、平和なまち」の外国人観光客おもてなしコミュニティづくり “2時間のおもてなし・日本一の通過型観光地を目指して”
対象地域	北海道置戸町
対象地域の概要	 <p>【位置図】</p> <p>【置戸町周辺地域図】</p>  <p>【町内商店街等での外国人と町民との交流】</p>
提案内容の概要	<p>昨年度の本事業で、「置戸ホスピタリティ」とは何かという普遍的な問の重要性に気づいた町民の間に、自ら地域の活力を生み出そうという雰囲気醸成されたことから、今年度は更なる町内外のネットワーク形成を目指すため、町自慢の図書館を生かした事業やクラフトの町ならではの芸術文化を通じた交流事業などを実施する。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>町民の間には、現状のコミュニティに対して不安、不満があるが、率先してその解決への行動は起こしにくい状況があった。外国人観光客への対応をきっかけに、置戸ホスピタリティのありようを、外部の講師や留学生等町外の人も参加し考える場を得たことで、既存のコミュニティの改善、新たなコミュニティの創出のための具体的な行動プランも見え出した。</p> <p>地域課題の解決法として、町内外に広く人材やアイデアを得られるようなネットワークを上手につくこと、またそのような動きをしっかりと地元で支援する体制をつくることの重要性に気づいた。</p>
(2) 活動内容の案	<p><b>活動①</b>：おもてなしイベント創出</p> <p><b>内容</b>：</p> <p>昨年、試行実施したおもてなしイベントのオケクラフト製ピンホールカメラ撮影体験については、カメラの量産が本格化し、販売も可能になったことから、観光協会が中心となり、来町する観光客へのPRを本格化する。</p> <p>冬季釣りイベントは滞在時間の短さに対応した楽しみ方を、昨年度実施したアンケート等を参考に検討する。</p> <p>北見工業大学留学生によるタウンマップ作成については、年度中の完成、配布を目指し、観光客の反応を調査する。</p> <p><b>活動②</b>：ライブラリー・コミュニティ形成事業</p>

	<p><b>内容</b>：</p> <p>町民と大学生（北海学園大学、北見工業大学）との協働による、図書館を活用した交流型事業（例：ライブラリー・プラネタリウム、真夜中図書館探検隊等）実施のためのワークショップを3回開催し、地元の児童・生徒が参加しやすい企画の実現を目指す。</p>
	<p><b>活動③</b>：アーティスト・インOKタウン事業</p>
	<p><b>内容</b>：</p> <p>日本大学芸術学部等、首都圏の美術系学生5名の夏休み中のホームステイ受入れにより、町内芸術創作活動「アーティスト・インOKタウン」事業を実施し、学生と町民、観光客の交流をはかり、OKタウンの滞在の楽しみを宣伝するとともに、まちなかでの創作活動により活性化を目指す。</p>
応募団体名	特定非営利活動法人 北見NPOサポートセンター
リンク	<a href="http://www9.plala.or.jp/kitami-npo">http://www9.plala.or.jp/kitami-npo</a>
部局／担当者名	理事長 谷井 貞夫
連絡先	TEL 0157-22-2055 メール k-npo-sc@sea.plala.or.jp
推薦市町村名	北海道置戸町